

大阪大学経営協議会（令和2年度 第1回）議事要旨

日 時 令和2年6月1日（月）13時30分～15時30分

場 所 大阪大学吹田キャンパス共創イノベーション棟会議室1～3
大阪大学東京オフィス（テレビ会議）

出席者 西尾総長（議長）

池上、井野瀬、大石、来島、鈴木、多田、塚本、津賀、出口、鳥井、村尾、CASSIM、
米田、金田、田中、三成、河原、尾上、中谷、工藤、奈良、小笠原、竹村、馬場口、
土井、有川 各委員

欠席者 土屋、中野 各委員

議事に先立ち、西尾議長より新任の委員の紹介及び会議開催に必要な定足数を満たしている旨の報告があった。

また、前回（書面審議）の議事要旨については、事前に各委員に照会し、内容を確定して本学ホームページに公表済みである旨の報告があった。

議 事

【議事】

1 本学における新型コロナウイルスへの対応について

田中委員及び奈良委員から、配付資料に基づき、本学における新型コロナウイルスに対する当面の取組及び学生支援の概要について説明があった。

2 副学長及び総長参与の指名について

西尾議長から、配付資料に基づき、4月1日付で副学長3名及び総長参与2名を指名したことについて報告があった。

3 第3期中期目標期間における4年目終了時評価に関する報告書(案)について

西尾議長から、配付資料に基づき、第3期中期目標期間における4年目終了時評価に関する報告書(案)に記載する内容の概要について説明があり、審議の結果、これを承認した。

なお、学外委員より以下のような意見があった。

- ・ ウィズコロナ、ポストコロナの社会をどのように作っていくかを考える際、ELSIは非常に重要な要素となってくる。世界では経済大国間で摩擦が生じているが、政治とは別に産業界はグローバルにビジネスを展開しており、アカデミアにおいてもグローバルなネットワークを活用していただきたい。ELSIは、そのような学術外交の土台となるだろう。

- ・ 修士課程を終えて産業界へ進む人が多いように感じるが、大学の質を高めていくために

は、博士課程まで学生を教育し続けるような大学の雰囲気は重要ではないか。企業では成果を求められるが、大学で基礎をしっかり学んでいる研究者ほど大きな成果を出すため、産業界では博士課程を修了した学生を歓迎している。

- ・ 研究開発エコシステムは非常に優れたビジョンであり、昨今の新型コロナウイルス感染症の感染拡大についても、その対応の中で明らかになった課題を研究開発エコシステムの好循環に組み込んではどうか。

4 令和元年度資金運用について

中谷委員から、配付資料に基づき、運営費交付金等の事業資金による令和元年度の長期及び短期の資金運用の実施状況について報告があった。

5 令和3年度概算要求について

金田委員から、配付資料に基づき、令和3年度概算要求における本学の方針及び施設整備事業に係る要求事項について説明があり、審議の結果、これを承認した。

6 令和2年6月期の教職員賞与及び役員賞与について

奈良委員から、配付資料に基づき、令和2年6月期における教職員賞与及び役員賞与の支給基準等について説明があり、審議の結果、これを承認した。

7 総長選考会議委員の選出について

工藤委員から、配付資料に基づき、経営協議会の学外委員から選出される総長選考会議委員について、令和2年3月31日で任期満了となったことに伴い、後任の6名を選出する必要があることの説明の後、井野瀬、大石、鈴木、鳥井、村尾、米田の各委員を選出することの提案があり、審議の結果、これを承認した。

【その他】

1 OUビジョンの改訂について

西尾議長から、配付資料に基づき、OUビジョン2021の改訂について説明があった。

- 西尾議長から、令和元年度決算について後日書面審議を実施することの説明及び協力依頼があった。

(以 上)